



# けやき

【2月号】

令和2年1月31日

流山市立小山小学校

TEL 04-7154-6937

## メディアリテラシーに思うこと

校長 山口 謙

2月を迎えます。2月は如月という言い方もあります。旧暦2月の呼び方で現在（太陽暦）の2月とは一ヶ月ほどずれているようです。調べてみると児童用の国語辞典には短く「昔の暦で2月のこと」とありました。図書室にある総合百科事典ポプラディアにはそれに加えて「草木が芽吹き生きかえる（更生する）ので『木更生』あるいは『生更ぎ』という」など語源について書かれていました。ネットで調べると語源は「寒さで着物を更に重ねて着ることから『衣更着』という説が有力」と出てきました。何かを知りたい時、何で調べるかによってわかることが違います。こうしてみるとインターネットはたいへん便利な道具ですが、何かを知りたい時の調べる方法としてはやや心許ない気がします。

先日、雑誌に『若者のメディアリテラシー能力』に関する記事がありました。アメリカのスタンフォード大学で「次の二つの言葉を知っているか」アンケート調査をしたところ、知っていたのはわずか数%の学生だったという記事です。二つの言葉とは「フィルターバブル」と「エコーチェンバー」です。この言葉は正にインターネット等を通じた情報取得に関する警告とも受け取れる言葉です。そうしたキーワードをほとんどの学生が知らなかったというのが、米スタンフォード大学の実情だったわけです。フィルターバブルは「PC やスマホはネットでのユーザーのクリック履歴から関心がありそうな情報を優先的に表示する機能がある。その結果、その人が得る情報にはフィルターがかけられその人にとって心地よく興味のある話題ばかりが入ってくる。気づかぬうちに心地よいバブルに包まれている。その状態のこと」エコーチェンバーは「SNS は仲の良い友達、興味関心が合う人がフォローすることで広がる。その結果似た価値観の人たちだけでコミュニティができるので、その中では似た意見がエコー（こだま）し増幅していく。異なる意見・批判的な意見は遮断されており、結果、自分の意見は大多数の意見だと思い込む現象のこと」とのことです。調査をした教授は「学生達はデバイスを使いこなすという点では専門家だが、情報について批判的に考える力は決して高くない」と論じています。優秀な学生達が情報を多角的に捉えることなど当たり前なのだろうと思っていましたがそうでもないようです。

ところでこのことは一般的に私たちの子供たちについても当てはまります。子供はあっという間にスマホなど新しい機器の使い方を覚え使いこなします。ネットを含めたマスコミなどの論には「これからの時代、スマホ活用は当たり前。学校でも使用させるべき」等の意見も目にし、耳にします。しかしスタンフォード大学の例を聞くと安易にスマホ使用が一般化されるべきではありません。そこで重視されてきたのが「メディアリテラシー教育」です。リテラシーとは最初は読み書き能力のように解釈されていましたが最近幅広く「読み解く力」「理解し使いこなす能力」のような解釈になってきました。そして理解し使いこなす対象はPC とかスマホのような具体物のことではなく情報やメディアなど視覚・聴覚を通して得たものになります。などと整理してみても実際にそれを教えるのは容易ではありません。ただ一つこの場合にも大切なこととして思い浮かぶのは「物事は多角的に見ることが大切だ」という簡単な教えです。賢明な大人は昔から機に応じて子供たちにこの言葉を掛けてきました。「一方からだけ見て判断しない」ことを習慣づけさせることは学校でも家庭でも身近な大人がすぐにトライできます。科学的な事象は勿論、文章に書かれていること、日常生活の中で見聞きする人の意見や行動、人の評価等、全て我々の周りにあること、起きることは自分が見ている反対側からはどう見えるのか考えてみる。それを実践できる子供にすることがまず大切な一歩なのではないでしょうか。

# 活動の記録 1月

## 1年生 生活科 たこあげの様子



冬らしい快晴の空の下、生活科で作ったたこをみんなであげました。適度な風もあり、上手にあげて楽しんでいました。最近では、思い切り走りながら、周りを気にせずたこあげをして楽しめる場所もずいぶん減ってきたと思います。今回の授業のような体験を大切にしていきたいと思っています。

## プログラミング学習の様子



来年度から実施される新学習指導要領において、プログラミング学習が行われることは、ニュース等でご存じの保護者の皆様も多いと思います。小山小でも、発達段階に合わせ、パソコンを効果的に活用し、論理的な思考を育てる授業ができるよう、今年度のうちから指導を進めております。

## 防火人文字 記念品贈呈式 1/23



昨年11月13日に、校庭に全校児童が集まって撮影した防火人文字ですが、このたび動画、写真が完成し、市のホームページに掲載されました。撮影して下さった流山市防火協会及び流山消防本部の方から記念の航空写真も頂きました。写真は児童一人一人に配付しましたのでご覧ください。

流山市のホームページ「防火人文字」へのリンク

<https://www.city.nagareyama.chiba.jp/life/1003032/1003036/1003053.html>



## 3年生 消防署特別授業 1/27



この日は学校にポンプ車、化学消防車、救急車がやってきました。3年生の児童が、車内の様子を見学したり、消防士の方に説明を聞いたりしながら、社会科での学習内容を深めました。

1月16日（木）に、きめ細かな指導のための非常勤講師として、荒木康之 講師が着任しました。4年生と2年7組の図画工作科の授業を受け持ちます。